

南 砺 市

市 長 田 中 幹 夫 殿

平成20年7月28日豪雨災害復旧関連工事に関する

要 望 書

南 砺 市 小 二 又 集 落



平成22年 1月 日

南砺市長 田 中 幹 夫 殿

小又区長 山本 正

20
平成21年7月28日豪雨災害復旧関連工事についての要望書

災害復旧につきましては格段のご努力をいただき感謝しております、何分にも災害の規模が大きく、その復旧も予定通りに進まない面もありますので、下記の通り要望を申し述べ特段のご配慮をお願いいたします。

1、 河川関係

- ① 桃敷川 大谷川合流地点より上流、集落用水取り入れ口までの間(上手)護岸内側が陥没空洞化している。
- ② 第二堰堤の両サイドが崩れている。(開拓地・小山孝雄水田下)

2、 道路関係

- ① 林道小又線大谷橋より基幹林道までの間、山側側溝より林道横断での排水溝が詰まり不能となっている。雨水による道路の崩落、山崩れ等の被害3箇所。
- ② 市道才川小又線、耳山の土砂崩れ等で孤立(20・7・28他1回)土砂排除のみで崩落防止がない、速急に二次災害防止のため防護柵の設置を望む。

3、 用水確保と稲作の復活

- ① 昨年は止むを得ず休耕したが、今年は全面復活したい(用水確保)
特に立野原建設受注の小又溜池の排土工事が遅れ今年の作付には間に合わない。
仮設パイプにより溜池内を通水する等の措置を講じてもらいたい。

4、 急傾斜地防護対策

- ①~~②~~ 等集落内で桃敷川より南側の3戸が同対策事業の対象外になっており先般の豪雨災害でも危険な状態となった。早急に対策を講じてもらいたい。
(※前回外れた理由・・・対象10戸以上必要、桃敷川を挟んでの同一箇所付けは認められない。)
- ② 指定地防護施設内での崩落土砂等の撤去、防護施設より上部の土砂崩れ防止対策(集中豪雨時) 5箇所

4、 諸対策について

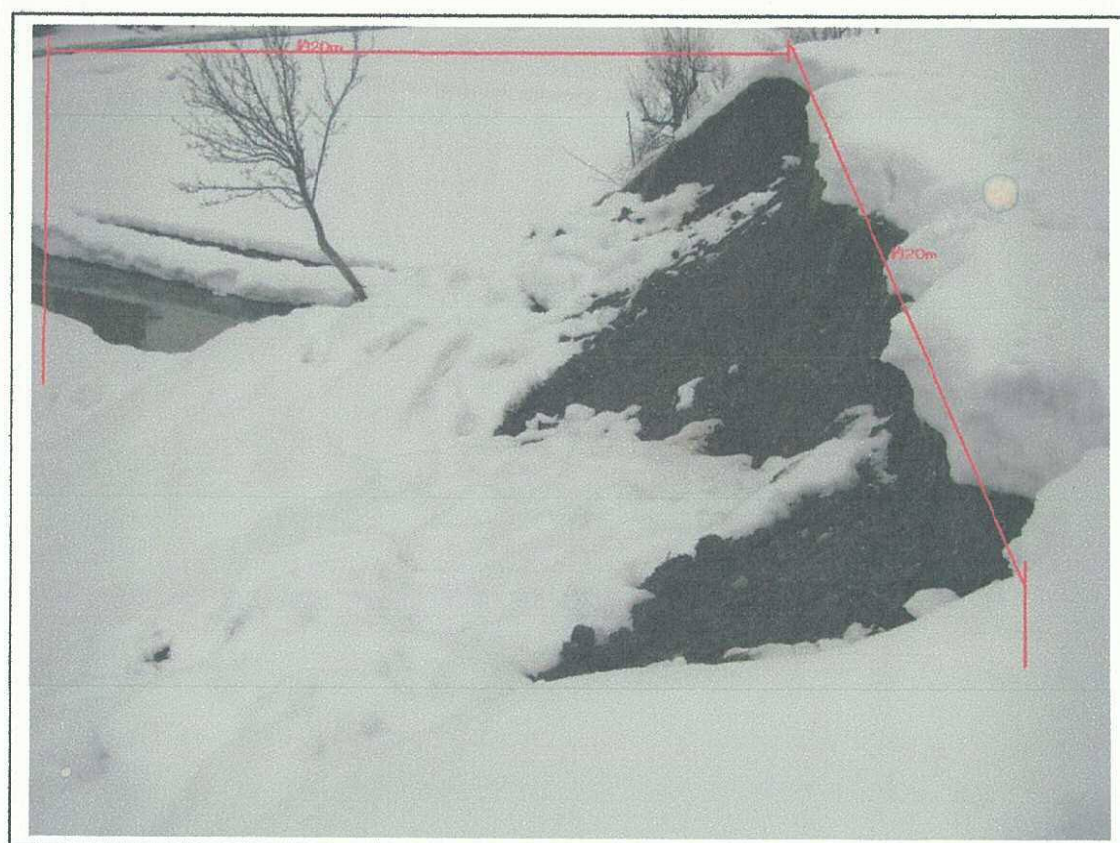
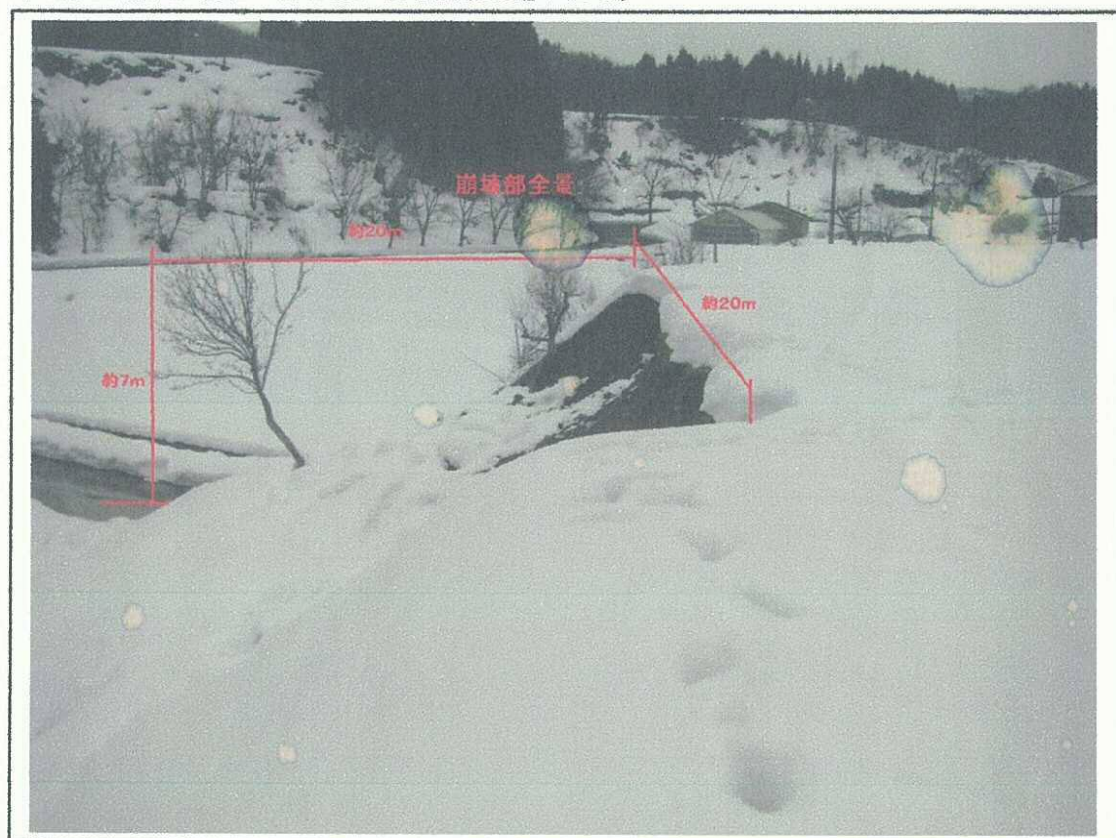
等集落内で初めて猪の被害を受けたのは平成16年である、昨年は水田転作で草（クロタダリア）が茂り猪の格好の場所になった、集落内の反米田も全滅しまた畑作や果樹の被害も多発した。この防止対策として地域ぐるみでの取り組みが必要となってきた、防護柵の設置、捕獲対策について最善を講じていただきたい。

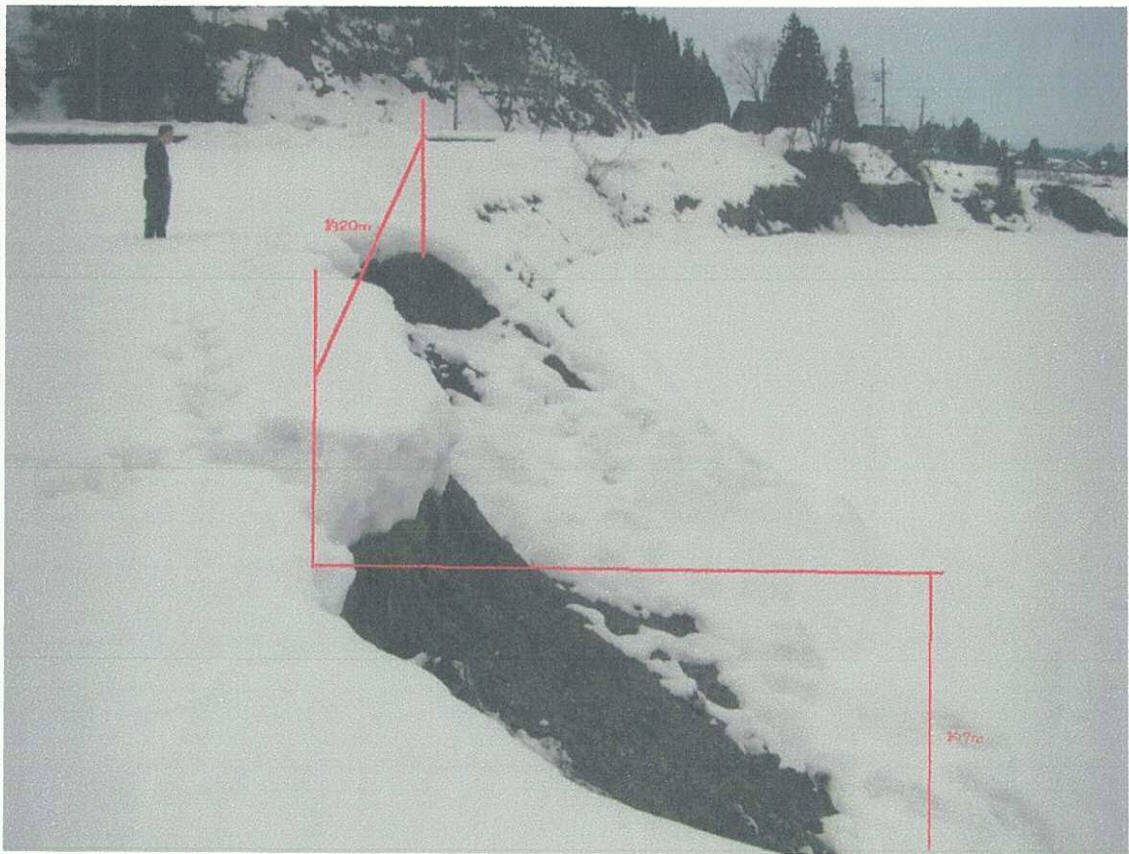
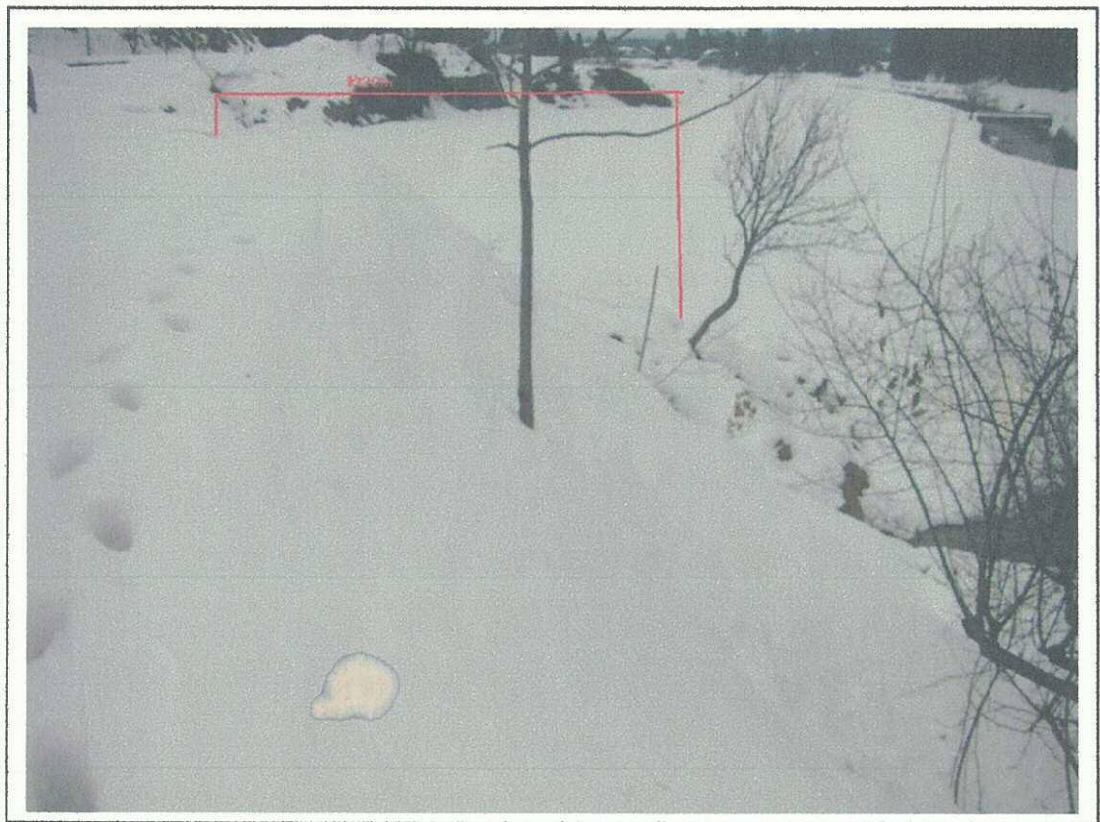
※災害復旧のため重量車両の通行が激しく、路肩、用水の等の損傷が甚しく工事終了後速やかに復旧願いたい。

以上

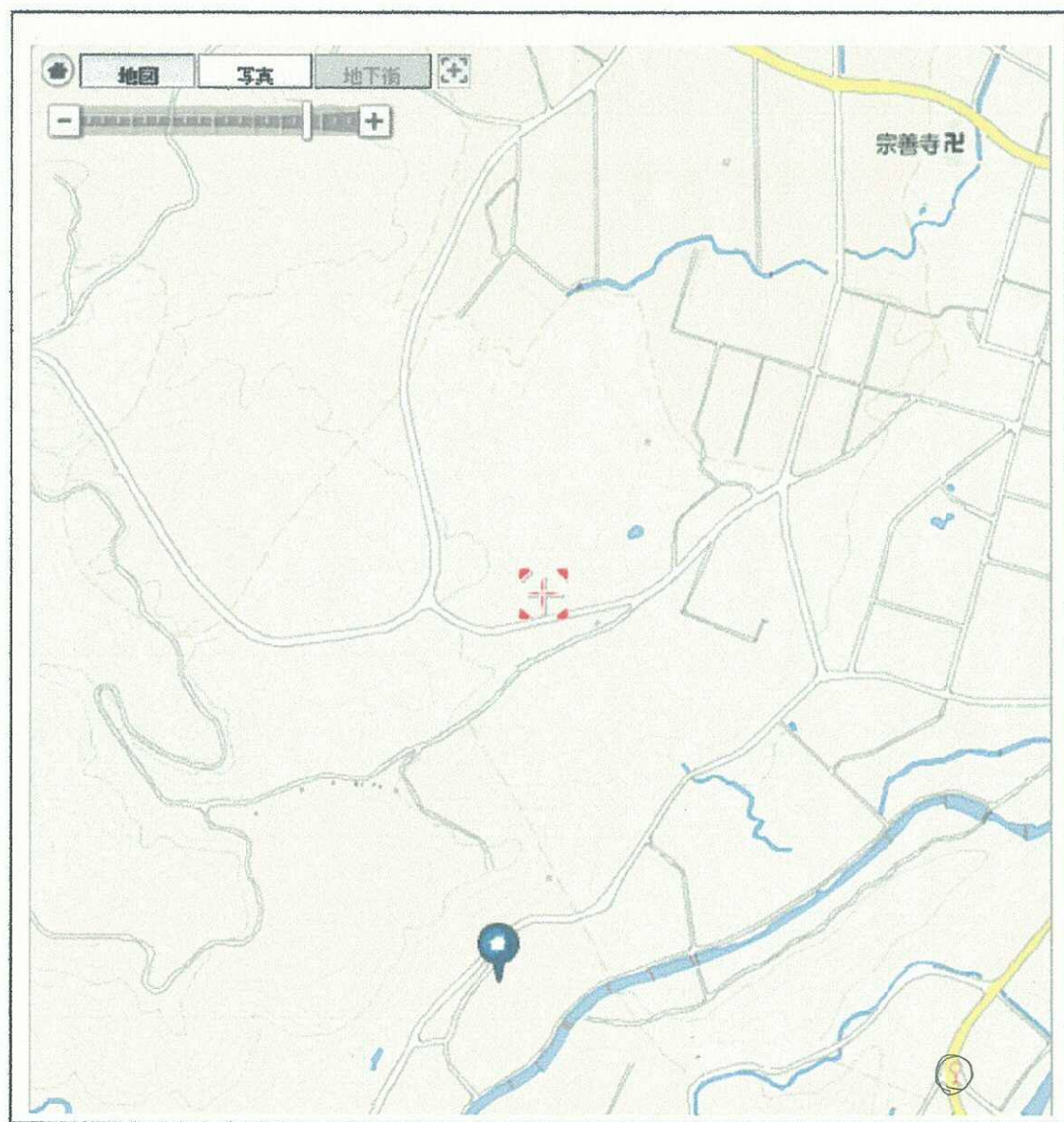
小又地区土手（けい畔）崩壊について

平成20年の南砺市を襲った豪雨の災害復旧事業により、下の田んぼの整備事業を行った際に地下の水の流れが変わったことによる崩壊と思われる。





場所：早川吉一郎宅 前の田んぼ



小二又要望箇所図

